

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
現代社会問題 Issues in Modern Society		全学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	梅田 美穂	
概要				
<p>子どもはみな、それぞれの「時代性」を背負って生きている。現代の子どもたちは、どのような問題を抱えているのでしょうか？子どもの生活を激変させた第二次世界大戦終戦から、現在に至るまで、それぞれの時代の子どもの姿を捉えながら、現代の子どもの問題について考える</p>				
到達目標				
<p>(1) 時代背景に合わせた子どもの問題の変化について説明できる  (2) 子どもに関わる問題について具体的に述べるができる。  (3) マスコミ（新聞、テレビ等）のニュース報道に興味を湧き自分の意見を持って協議する。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 終戦前後の子ども文化</li> <li>3 戦後の社会的養護</li> <li>4 教育制度・集団就職</li> <li>5 高度経済成長期の子どもたち テレビの世界</li> <li>6 加熱化する進学塾</li> <li>7 いじめ</li> <li>8 平成時代の子どもたち ファミコン・シンドローム</li> <li>9 少年A</li> <li>10 学校に行けない子ども、行かない子ども</li> <li>11 特別な支援の必要な子どもたち</li> <li>12 「モンスター・ペアレント」の出現</li> <li>13 女性に社会進出と保育ニーズ</li> <li>14 「親性」の揺らぎと子ども虐待</li> <li>15 スマホ世代の子どもたち</li> </ol> <p>※授業内容を一部変更する場合があります。</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>授業時にプリント配布  参考文献:深谷和子編 児童心理「子どもの問題70年」金子書房</p>			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>社会人に求められる教養、技能、品格を授業の中で身につける人生で最後の時間です。自覚して頑張りましょう。</p>			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 時代背景に合わせた子どもの問題の変化について説明できる。	子どもの問題の変化を的確に説明できる。	子どもの問題の変化について大体のことを説明できる。	時代背景に合わせた子どもの問題の変化を間違いはあるが説明できる。	時代背景に合わせた子どもの問題の変化を説明できていない。	レポート(知識・思考・表現力)	20%
(2) 子どもに関わる問題について具体的に述べることができる。	子どもに関わる問題についての的確に認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について大体のことを認識し、自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について認識の間違いはあるが、最低限の自分の考えを述べている。	子どもに関わる問題について認識できておらず、自分の考えを述べていない。	発表・レポート(知識・思考力・判断力・表現力)	40%
(3) マスコミ(新聞、テレビ等)のニュース報道に興味を湧き自分の意見を持って協議する。	的確な問題意識を持って協議している。	問題意識を持ち、協議している。	間違いはいくつかあるが、協議に参加している。	身近な問題に触れようとせず、協議していない。	授業の取り組み(関心・意欲・思考・表現力)	40%